

提案依頼書

【NaGaOKa オープンイノベーション事業の概要】

目的	本事業は、次のプロセスを通じて、長岡市の地域特性や実情に適した課題解決策を導入し、市民生活の向上および行政事務の効率化、ひいては長岡版イノベーション※を推進することを目的とします。 ① 長岡市が抱える地域課題や行政課題について民間企業等から ICT 等の技術を用いた解決アイデアを募集し、優秀な事業者を採択します。 ② 採択された事業者には、長岡市の支援を受けながら製品・サービス等を用いた実証実験等を実施していただき、課題解決に資するかどうかを検証していただきます。 ③ 検証結果や市民・関係者の評価、費用対効果等に基づき、市は本格導入を検討します。 ※ 長岡版イノベーション 「変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず市民生活の向上と産業の活性化を実現する。」という基本方針のもと、様々な事業に取り組む。
長岡市について	新潟県のほぼ中央に位置し、市の中央部を日本一の長さと流水量を誇る信濃川が流れる、守門岳から日本海まで11の地域が広がる人口約27万人の都市です。 交通網としては上越新幹線や関越・北陸自動車道、寺泊港が整備され、首都圏や北陸・東北方面と本市を結んでおり、東京からは新幹線で約1時間30分の距離に位置しています。 現在、「長岡版イノベーション」の推進に力を入れており、変化の波を的確にとらえながら、従前のやり方にとらわれず、市民生活の向上や産業の活性化の実現を目指しています。 この NaGaOKa オープンイノベーションもそのための事業の一つであり、ほかにも市内の4大学1高専との連携やデザイン思考・新技術などの導入、起業支援によるビジネス創出、プログラミング教育による人材育成など、様々な取組を実施しています。
募集テーマ	「ICT 活用による社会参加支援のためのソリューション」
事業の流れ	募 集 期 間 令和7年7月1日(火)～7月14日(月) 個別ヒアリング 令和7年7月上旬～7月中旬 採 択 通 知 令和7年7月中旬ごろ 実 証 実 験 等 令和7年8月上旬～10月上旬 ※ 研修等の期間を含む 成 果 報 告 会 令和7年10月ごろ ※ 遠方の応募者に対するヒアリングはオンライン会議等も活用して実施します。
実証実験に要する 経費への補助	補 助 金 額 補助対象経費相当額(上限30万) 補 助 対 象 経 費 機器調達・改良費、機器運搬費・設置費、旅費・交通費、 施設等利用料、謝金、安全対策費、広告宣伝費

市の企業との 役割分担	【長岡市】 ・助成金の交付 ・実証実験の実施方法等に関する助言 ・実証フィールドの提供、斡旋、地元調整およびモニター募集等への協力 ・事業に関するプロモーションへの協力 【事業者】 ・プロジェクトの運営、進捗管理および進捗報告 ・プロジェクトに係る経費の負担 ・製品・サービスの改良 ・プロジェクトから得られたデータ等の整理、検証および市への提供 ・事業実績報告書の提出 ・製品・サービスに起因して生じたトラブル等への対応
募集期間	令和7年7月1日（火）～7月14日（月）
審査項目	課題の理解度、提案の有効性、実現可能性、計画・体制、安全性
対象事業者	① 法人格を有する者 ② 個人事業主 ③ ①または②に該当する者によって構成される任意団体等 ※ 事業所の所在地は問わないが、電話・オンライン会議等随時連絡を取れる体制を作れること。 ※ すでに提供可能な技術・サービス等を有する、または調達が可能であること。

【テーマ ICT 活用による社会参加支援のためのソリューション】

課題背景	・令和4年に内閣府が15～64歳を対象に実施した調査によると、約2%の割合でひきこもり状態に該当するという結果が出た。長岡市の場合、約2,900人が該当すると考えられる。 ・令和6年度からひきこもり相談支援室を設置し、ひきこもり状態にある当事者や家族からの相談に対応しているが、特に外出が難しい当事者への支援が少ない。 ・また身体障害や難病等のため自宅からの外出が難しく、社会で働く機会が限定的な方、家族の看護・介護のため、自宅を離れることができない方は、コミュニケーションの機会を得ることや、新たな出会いの機会が得られにくい状況がある。
解決したい課題	・ひきこもり状態や身体的な障害がある、家族の介護をしているなど、外出できない方が社会とのつながることができる仕組みの構築
期待する サービス・技術	(Must 要件) ・自宅から他者と直接対面しなくても、社会とつながることができる。 ・機器等の操作に不慣れな方でも手軽に利用でき、利用者の負担感が小さいこと。 ・コミュニケーションが苦手な場合でも、ある程度話す内容が決まっていること。

	(Want 要件) ・研修、フォローアップ研修 ・技術・サービスの導入だけでなく、運用方法や導入後の展開まで一緒に検討していただけること
対象者の選定	ひきこもり状態にある当事者、身体障害や難病のため外出が難しい方を公募し、その中から福祉課で選定する。5名程度。
スケジュール	対象者の選定：令和7年7月～（予定） 実証実験期間（研修を含む）：8月上旬～10月上旬（予定）
実証実験後の フィールド	【長岡市内】 ・外出困難な方が、ICTを利用することで、社会とのつながる仕組みが構築可能であれば、ひきこもり状態や障害者以外の他の利用者にも広がる可能性がある。 ・ICTを使うための研修を得て、仕事として従事した場合、賃金を得ることができ、就労に向けた自信にもなる。 ・結果、この体験を通して、就職に向けた取り組みにつながっていく。 【長岡市外】 ・同様の課題を抱えている他の自治体への横展開が可能であるとする。